

## 2022版 IT導入補助金研修会 カリキュラム

No.	セッション	項目	時間		内容
-	-	はじめに	3分	3	講師自己紹介と言葉の定義など
第1部	①	昨年の採択率考察	7分	7	20年度はC型が予算オーバーになったようです。採択率もかなり低かったです。その考察と今年度の予測をします。
	②	IT導入補助金概要	20分	20	今年度のIT導入補助金の特徴を説明、ざっくりと昨年度との違いを理解して頂きます。
					通常枠(AB型)とデジタル基盤導入枠の内容と違いを説明します。
					IT導入支援事業者とお客様の役割、及び両社が協力して申請するフローを解説します(jGrants含む)。
	③	必須項目と加点項目	15分	15	AB型とデジタル基盤型における加点項目を開設。今年度から新たな加点項目が追加になりました。
④	ITツールの登録方法	25分	20	申請するにあたり重要な、IT補助金のコンセプトと目的をご理解頂きます。	
				ITツールの登録要件、AB型とデジタル基盤型の違いや類型ごとの申請条件などについて説明します。	
第2部	⑤	審査内容とそのポイント	20分	20	審査には定性・定量評価の2つがあります。その内容と、審査のポイントや、審査の裏側も覗いてみます。
	⑥	全体ストーリーの重要性	10分	10	今年度から詳しい財務情報が必要です。それと現在の経営状況などを考慮した、全体ストーリーを作る必要があります。
					審査員の視点で、何をどのように記述すればいいかをお伝えします。
	⑦	業種ごとの生産性向上作戦	30分	30	生産性向上の意味と、その取り組み方、また、インボイス精度の概略と、デジタル基盤型の関係を説明します。
	⑧	事業内容の書き方	20分	20	事業内容が唯一、自社の取組を伝えられる項目です。分かり易く、伝わり易い書き方をお話します。
	⑨	事業計画の作り方	40分	40	経営状況の確認やビジネスプロセス改善、ITツール、インボイスへの対応法などと事業内容の整合性を解説します。
⑩	生産性向上計画の作り方	15分	15	AB型について、今までお話してきた内容を実行した結果を数値で表します。活動と数値の整合性が重要になります。	
第3部	⑪	事例を使った事業計画作成法 (解説と一部演習形式で実施)	30分	30	AB型、デジタル基盤型について、それぞれ事例企業を作り、事業計画の作成方法を解説します。
					事業系計画を作成解説の中で、一部受講生の方にも考えて頂く個所があります。